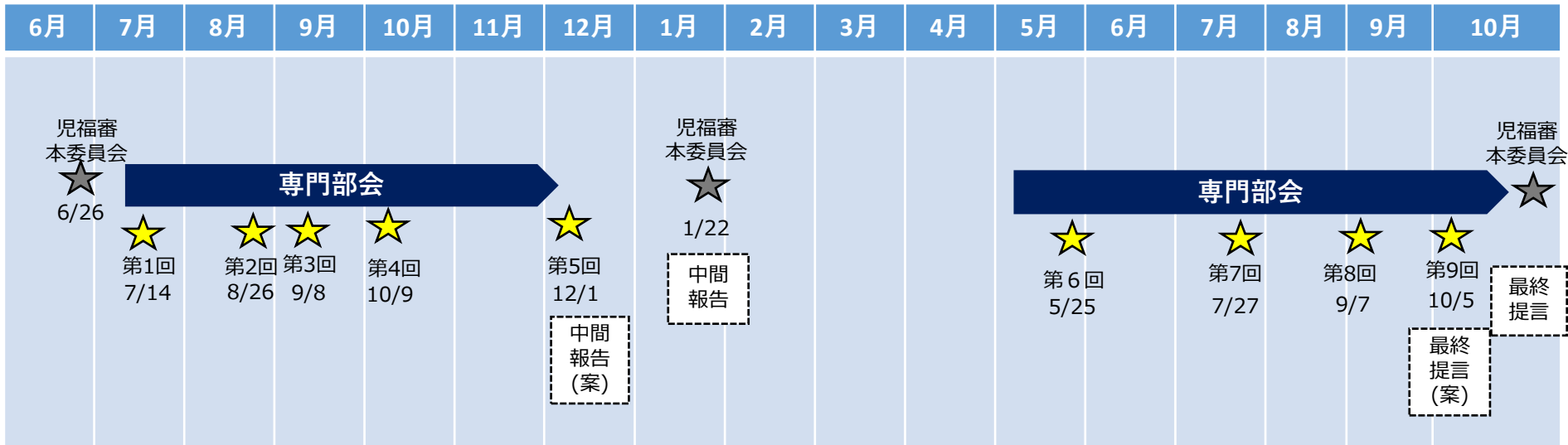


# 専門部会「里親等委託の推進に向けた検討」 今後の検討事項・スケジュール（案）

- 直ちに対応すべき事項について、令和8年1月に当面の取組の方向性を**中間報告**としてとりまとめ
- 引き続き検討を要する事項について、令和8年秋までに、短期的な施策と中長期的な施策の双方を盛り込み、**最終提言**としてとりまとめ
  - (1) フレンドホーム制度と養育家庭制度の一体的運営（里親型フレンドホーム（仮称）の検討）
  - (2) 里親・ファミリーホームと施設・社会福祉法人等との連携（施設職員型里親（仮称）の検討）
  - (3) 包括的な里親支援体制・機能の拡充（フォスターリング機関・里親支援センターの在り方の検討）
  - (4) 家庭養育推進専門チーム（仮称）の設置（児童相談所の体制強化）
  - (5) その他

## 令和7年度

## 令和8年度



## ■ 令和8年度に向けて引き続き検討を要する主な論点

### ◆総論

- 既存の制度の枠を超えて何が必要か
- 里親制度だけでなく社会的養護全体を考える中で、家庭養育をバックアップする施設の在り方・機能も検討
- 区市町村中心で実施している子育て支援や予防的支援との繋がりも重要であり、社会的養護だけでなく、地域における子育ての繋がりの中に里親養育も包摂され、里親制度の外との関係もソーシャルワークが進むよう検討

### ◆フレンドホーム制度と養育家庭制度の一体的運営

- フレンドホーム制度と養育家庭制度の一体的な運用方法、未受託の家庭の活躍、マッチング率の向上
- フレンドホームとしての交流から里親委託への移行を見据えたルールやプロセス

### ◆包括的な里親支援体制・機能の拡充

- 継続的かつ包括的・一貫した里親支援体制の構築、フォスタリング機関の里親支援センターへの移行、児童相談所との役割分担
- 委託児童や里親家庭の実子も含めた里親家庭への支援
- 休日の実親等との交流や、夜間休日の相談支援などに対応が可能な体制
- 施設から里親への措置変更後も、施設等による心理ケア等の専門的支援の継続など、施設機能を活かした支援の継続の在り方や、養育者が変わる場合のパーマネンシー保障の在り方

### ◆里親・ファミリーホームと社会福祉法人等との連携

- ケアニーズの高い児童を受け入れる里親・ファミリーホームの確保のため、施設を運営する社会福祉法人等との、施設機能を活かした連携や家庭養育へのバックアップ体制の在り方
- 虐待によるトラウマや愛着障害等の課題、情緒面・行動面で重い課題を抱える高年齢児への対応、施設機能の在り方

### ◆家庭養育専門チーム（仮称）の設置

- パーマネンシー保障を強化するために、実親との関係も踏まえつつ、地区担当児童福祉司、施設や里親と協働する家庭養育推進専門チーム（仮称）の設置

### ◆その他

- 普及啓発について、登録家庭数の拡大に向けた関心の高い層に対するアプローチだけでなく、関心の低い潜在的な層からの掘り起こしや、社会における里親家庭への理解と支援を広げるための一般市民・民間企業に対するアプローチなど、目的とターゲットを明確にした広報
- フレンドホームやショートステイ等の里親委託以外の制度と連携した研修体系の充実、フレンドホーム登録者やファミリーホームの補助者に対する研修の仕組み
- 養育家庭委託候補児童となりながらマッチングに至らない児童が一定数存在する現状、不調の未然の防止の観点も踏まえた、マッチング方法の在り方、具体的な課題整理と確認、状況改善
- 親族里親や親族による養育家庭について、児童の最善の利益の観点を踏まえた上で、範囲を広げた検討、委託の在り方、制度活用
- ケアニーズの高い児童の里親委託について、専門養育家庭への委託の在り方
- DXについて、情報共有の視点に加えて、用途や活用方針を明確にした上で、判断に先立つ分析の段階におけるAIの活用等も視野に入れた幅広い検討
- 都区の連携を考慮した、効率的、効果的な里親委託推進の在り方